

世界に羽ばたく
科学系人材の育成!

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第5号 H25年10月

編集 : SSH推進委員会

発行責任者 : 西 清人

9月26日(木)~28日(土)

関東サイエンスツアー



《 日程 》

- 第1日目 (午前) 小松→東京(飛行機利用) 国立科学博物館 研修
(午後) 東京大学大学院 研修
有機化学、航空宇宙工学、電子情報学に分かれての研修
- 第2日目 グループに分かれての研修
- ・Aグループ
 - ①(午前) 東京工業大学応用セラミックス研究所 → (午後) 海洋研究開発機構
 - ②(午前) 東京工業大学応用セラミックス研究所 → (午後) 日本ゼオン川崎研究所
 - ・Bグループ
 - (午前) 電子航法研究所 → (午後) 理化学研究所(和光)
- 第3日目 (午前) 日本科学未来館 研修
(午後) 東京→小松(飛行機利用)

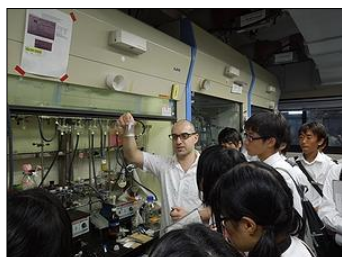
1年理数科39名が、「第一線の研究者・技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより科学技術に対する興味・関心を高め、学ぶ意欲を育てる」ことを目的に、国立科学博物館、東京大学大学院、東京・神奈川の研究施設、日本科学未来館を訪問し、実験実習等の研修を行いました。そのうち、東京大学大学院と東京・神奈川の研究施設はグループに分かれての研修になりました。

この関東サイエンスツアーに向けて、事前に研修先から出された課題について調べたり、事前学習シートを使って予備学習を行ってきました。そのため、生徒たちは興味と目的をもって臨み、どの研修の際にも積極的に質問して新たな発見をすることができました。どの研究室、研究所でも最先端の科学技術と知識を披露していただき、生徒たちにとって非常に大きな刺激となりました。

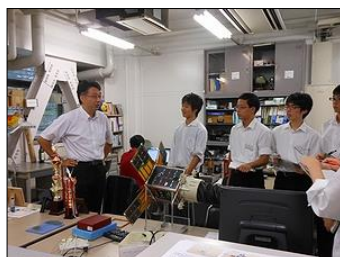
夜には宿舎の研修室で、東京大学へ進学した先輩たちの講話を聞く機会もあり、生徒たちにとってはとても充実した3日間となりました。



国立科学博物館



東大・化学



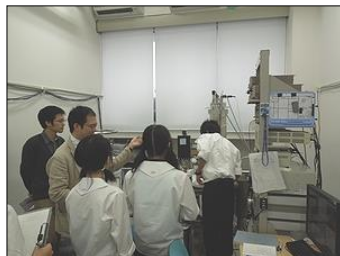
東大・航空宇宙工学



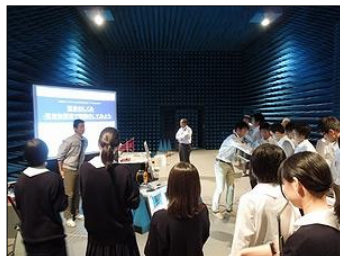
東大・電子情報学



東工大・応用セラミックス研究所
(建築)



東工大・応用セラミックス研究所
(材料)



電子航法研究所



海洋研究開発機構



日本ゼオン 川崎研究所



理化学研究所 (和光)



日本科学未来館



先輩たちの講話を聞く！

《生徒の感想》

- 普段は見るできないようなものや場所を実際に見たり、体験することができたりして、勉強に対する姿勢を改めて考え直すことができた。
- どの研修場所でも、自分たちにわかりやすいように丁寧に説明していただけたので、よく理解でき、さらにいろいろ考えるのが楽しかった。
- 仲間との協調性や、自分の考えの幅が広がった。進路選択の参考になった。

科学わくわく広場 ~小学生に科学の面白さを伝えよう!~

9月8日(日)に小松市立博物館内の市民ギャラリー「ルフレ」で、実験体験コーナー「科学わくわく広場」が開催され、本校から理科部の1年生5名が参加しました。今回は小学生と一緒に「樟脳(しょうのう)ボート」を作りました。クリアファイルを切ってボートを作り、裏に防虫剤に使われる樟脳を塗って、水槽に浮かべると、ボートがくるくると動き始めます。小学生たちは、円形の水槽や雨どいのような細長い水槽を使って、まっすぐ走るボートや速く走るボートを工夫して、楽しんでいました。



第77回 日本植物学会 高校生研究ポスター発表会

9月15日(日)に北海道大学高等教育推進機構で、日本植物学会高校生研究ポスター発表会が行われ、本校から生物部の1年生2名が参加しました。高校生の発表でありながら、どの高校の発表もレベルが高く、各高校の特色を出した素晴らしい発表をしていました。本校は「色素の吸い上げに着目してレインボー植物を作ろう」というテーマで発表を行いました。

